

市への要望・確認事項の
Noとリンク

市の対策一覧 ①

令和2年5月22日
新型コロナウイルス感染症対策検討協議会
資料2-1

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
A	①1	横須賀市公式LINEによる プッシュ型の情報提供	公明党	市長室	新型コロナウイルス関連の情報は市HPのトップに掲載されている。 情報を取りに行くプル型ではなく、コロナ関連含めたプッシュ型の情報提供をすべき。 LINEの公式アカウントは迅速かつ正確な発信ができるので、活用すべきと考える。	市民サービスの向上	5/15 質問内容を取りまとめ市へ 要望及び確認を依頼
	①2	緊急事態宣言が延長される 中で、経済的な悩みだけでなく、先行き不安や、子育てや介護の悩み、DV等、心身両面で追い込まれていく方がこれから増えることが懸念される。	よこすか未来会議	市長室 福祉部 等	市全体としての情報提供体制を対面以外でもしっかりと行うこと。例えば ・総合相談窓口のオンライン窓口を一時的でも開設すること。 ・既存の相談支援窓口の存在をHPのコロナ対策特設ページ上に分かりやすく示すこと。あわせて、SNS等で十分な周知を行うこと。	実際に市民の悩みや不満の解消につながるだけでなく、いざというときに頼れる相談先があるということ伝えるだけでも、市民生活の安心につながる。	
B	3	住宅ローンの支払い猶予及び固定資産税の支払い猶予または減免	自由民主党	経営企画部 税務部	賃貸住宅には家賃補助等の給付があるが、住宅ローンを支払っている世帯には何も給付がない。住宅ローン支払いは、本市に定住を決めている人たちで、固定資産税も支払っている。については、住宅ローンの支払い猶予対策を国に求めるとともに、本市においても固定資産税の支払い猶予または減免などの対策を行う必要がある。	住宅ローンを支払う市民の支援。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ 要望及び確認を依頼
B	①4	緊急雇用対策(アルバイト)	自由民主党	総務部	公園清掃、海岸清掃等、単純な仕事で募集。 予算として100人×20日/月×3カ月×8000円/日=約5000万円 募集100人程度(場合によっては学生限定)	苦学生対策。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ 要望及び確認を依頼
	②7	雇用の安定	小林伸行議員(オブザーバー)	総務部	会計年度職員の増員 失業者や一時的に仕事を失う人が増えている。 一方で、市の仕事は一時的に増えている部署も多い。 そのため、令和2年度限定を原則として市が会計年度任用職員を増員し、雇用してもいいのではないか。市の業務には高度な業務もあるが、常勤担当職員から定型業務を切り離して補佐することで、少しでも業務のリードタイムを速めることができるはずだ。 コロナが収まって年度内に離職することも咎めない。むしろ歓迎すべきだ。 そもそも、本市では非常勤職員の複数年雇用が常態化しているが、こういった臨時的業務への対応が本来的な会計年度任用職員制度の使い方と言える。	・雇用の安定 ・市役所への市民の好感や信頼感の向上	

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
4	5	<p>次亜塩素酸水について</p> <p>1. 効果的に使う 次亜塩素酸水と共に配布されている説明チラシの内容が少なく、感染防止に効果的な使い方ができているか疑問。注意事項欄に「直射日光に当たらない涼しい場所で保管」との記載はあるが、あまり意識されていないようだ。効果のなくなったものを使い続ける無駄を避けたい。</p> <p>2. 安全に保管する 誤飲したとの話を聞いており、健康上影響はないとのことだが、防止策は必要。</p> <p>3. 他の種類の次亜塩素酸水との混同を避けて、安全に使う 市が配布する次亜塩素酸水がどのようなものなのか、生成方法やp h値、濃度などの情報が公開されていない。安全性の高いものと聞いているが、一方で、「商品名の次亜塩素酸水として流通する製品には、次亜塩素酸ナトリウム水溶液や次亜塩素酸カルシウム水溶液、ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム水溶液、トリクロロイソシアヌル酸ナトリウム水溶液などを原料とした製品がある。これらについては食品添加物の「次亜塩素酸水」とは製造方法、並びに成分等が異なりうるため、原材料に使用される化学成分の安全データを確認することが望ましい。(Wikipedia)」との情報もあり、これらとの混同を避けたい。また、市販の塩素系漂白剤との混同の懸念もある。</p>	小室卓重議員	財務部	<p>説明チラシの内容の充実 「誤飲の防止」「保管方法」「生成方法やp h値、濃度など」のわかりやすい記載。 参考：相模原市HP、茅ヶ崎市HP</p>	市が配布する次亜塩素酸水を、市民が正しく理解し、暮らしの中での感染防止策を安全で効果的に行える。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
5	6	<p>新型コロナウイルスの影響で厳しい状況にある市内飲食店等の事業者を応援する事業に対して、補助を行う制度が4/30に本市議会で可決されたが、飲食店以外でも経営が苦しい企業が多く存在しており、さらなる企業への支援が求められている。</p>	よこすか未来会議	文化スポーツ観光部	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者を応援する民間事業者の取組に対して、必要な協力・支援を行う。 既存のクラウドファンディングサイトと連携し、横須賀市内事業者を支援する取組を実施できないか。(つくば市、鎌倉市、北九州市等で実践中) 	飲食店を含む、幅広い業種に対して、低予算で支援の機会を作ることができる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
6	①7	各種補助金・助成金の手続きの簡略化	自由民主党	市民部 等	各種補助金・助成金は多岐に及び、共通の書類も多いが、その事務作業は多く、煩雑化している。特に、本市独自の中小企業等家賃拡大防止金は、他の補助金・助成金よりも書類が多く、その書類の目的も明確化していない。については、書類の目的を明確化し、また、簡素化・簡略化して申請者及び職員の手務作業を効率化すべきである。	書類の簡素化・簡略化による事務作業の効率化。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①8	特別定額給付金におけるオンライン申請がスタートされた。しかし報道では、全国の自治体でオンライン申請に関する手続きのため窓口が混乱する事態が起きている。 感染リスク防止のためにも、郵送で手続きを行う方法を優先的に進め、申請者に迅速に的確に給付金をお渡しする。 窓口業務も不要な混雑を解消し、安全な業務を行える環境を整備する。	日本共産党	市民部	①これからマイナンバーカードの発行手続きを始めても、1カ月以上かかり、給付金を受け取るためのマイナンバーカード申請は、自粛していただく。 ②感染拡大防止のため、極力窓口に来訪することは遠慮してもらい、郵送による手続きを推奨する。 以上を、市として広報により周知を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者に確実に給付金を振り込める。 ・窓口における感染拡大防止につながる。 ・システム不具合をおこさせない。 ・無用な混乱を避けられる。 	
	①9	特別定額給付金の申請から給付までの具体的な日程を公表して、安心できるようにする。 すべての人が対象の特別定額給付金については大きな関心事となっている。コロナ禍で収入減となった方々には特に、「いつ」「どのように」給付されるのかがわからずに不安との声がある。	小室卓重議員	市民部	特別定額給付金の、給付のスケジュール（申請から給付までの具体的な日程）を市HPに掲載する。	給付のスケジュールがわかることで、今後の計画的な家計管理ができるようになり、安心につながる。	
	①44	支援を必要としている市民・事業者に行き届いた支援を。	よこすか未来会議	経済部	インターネットを使わない事業者・個人事業主などに支援を行き届いたものにするため、オンラインでの申請とは別に、書類での申請方法をわかりやすく伝達すること。特に漁師や農家を営んでいる個人事業主から、インターネットで情報収集することができないため、申請することもできない市民がいる。	支援を必要としている市民・事業者に行き届いた支援を。	

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
7	①10	新型コロナウイルス関係の支援について、申請や問い合わせ等が殺到しており、電話が繋がらない、メールの返信が遅い等の事態が発生しており、必要な支援を得られるのか不安を抱えている市民が多い。	よこすか未来会議	市民部	自宅作業を行っている職員を部局横断で活用し、上記窓口の職員を増員し、体制強化を図ること。(県や国の支援策の問合せにも対応できるとなお良い)・土業との連携での申請手続きの支援をすること。・わかりやすいマニュアルを公開すること・企業が申請をためらい、従業員に補償がいきわたらないような状況をつくらないこと	一人ひとりの申請や問合せ手続きの時間が短縮され、市民の不安や不満の解消に大きく寄与する。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	②6	人材の有効活用	小林伸行議員(オブザーバー)	総務部	職員配置のあり方の検証 たとえば「すかりぶ」では「#おうちですかりぶ」のハッシュタグ・キャンペーンやフォトコンテストを実施している。事業目的もあいまいで、事業効果が出る事業手法とも思えない。また、「自分の部署の所管の中でも何かやらなきゃ」と思ったのだろうが、予算が逼迫する今年度に、無予算事業だとしても人を充てるような仕事とは思えない。また、事業者からも「この苦しい時期に、無償での商品提供を求められても、コロナ後の売り上げが増えるキャンペーンでもないのが苦しいが、市との関係を考えて商品提供も考えざるを得ない」という声も挙がる。要するに、不要不急の優先度の低い事業である。 ことほど左様に、職員は職務分掌以外の仕事はできないために、真面目に自分の部署でできることを考えて何かをしようとするが、それは必ずしも全体最適とはならない。一方で、生活福祉課のように目の前の切実なケースへの対応に追われている部署もある。 ついては、人が足りない部署に一時的に部や課をまたいで人を送る柔軟な人事となっているか、調査をして提言したい。	・コロナ対策の進展 ・業務の円滑な執行	
	②8	人材の有効活用 市民の不安解消	小林伸行議員(オブザーバー)	総務部 (経営企画部)	在宅勤務の職員の業務のあり方の検証 市役所では職員約3,000人を約1,000人の3班に分けて輪番制の出勤とし、計算上は毎日約2,000人が在宅勤務となることになる。 BCPの観点から賢い方法だとは思いますが、在宅業務の環境を整えてこなかったため、実質的に自宅待機状態となっている職員もいるのではないかと疑念も起きる。 そこで、第一に、在宅勤務に必要な技術や投資案件はあるか、調査をする。 第二に、在宅で進められる業務の薄い職員には、遠隔で電話対応を行ってもらってはどうか? テレビ電話で市民相談にあたらせれば、きめ細かい対応ができる。端末は、手当も支給したうえで個人所有のスマホやPCを使ってもらい、セキュリティの確保されたアプリケーション経由で行えば問題はないはずだ。	・業務の円滑な執行 ・市民の不安解消	

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
E	①11	物資が適切にいきわたるようにしてほしい。	よこすか未来会議	市民部	現在寄付を受け付けているのが危機管理課だが、福祉部・健康部との連携を密に、今ある寄付物資、また必要とされている物資の調達に努め、適宜配布する。市場で手に入るもの、入らないものの確認もする。	補助金が出るが、防護服など、市場にないと聞く。寄付を募るのであれば、一元して募ることで、効果的に配布できる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①31	・感染拡大防止 ・市民の不安解消	小林伸行議員（オプザーバー）	健康部 福祉部 こども育成部	市内の医療施設・福祉施設の個人防護具(PPE)の配備状況の調査と手当て 横須賀市民病院において、防護服がなくゴミ袋を着て従事している医療関係者がいたと聞く。 知人の看護師は、自前でマスクを調達させられているという。値上がりしているうえ、夜勤など忙しい中で薬局に並ぶわけにもいかない。 別の知人の看護師は、N95マスクを何日も使いまわしているという。 これで、どうやって高いモチベーションを保って仕事すればいいのか。 そこで、市がマスク等を調達し、市内の感染者・医療機関・保育園・学童クラブ・障害者施設・高齢者施設等に優先的に配給すべきではないか。	・感染拡大防止 ・市民の納得感の醸成	
9	①12	人権に対する啓発をしてほしい。	よこすか未来会議	市民部	感染者やその家族に対する誹謗中傷だけでなく、医療従事者や介護事業者、働かざるを得ない職種の人たちへの誹謗中傷が起きているので、人権やプライバシーに対する配慮について今一度警鐘を促すこと。	すべての人の人権を守る。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
F	①13	新型コロナ惨禍の中で、職を失うパート、アルバイト等への支援	自由民主党	福祉部 経済部	新型コロナ惨禍の中で、職を失うパート、アルバイト等の市民相談窓口の設置及びハローワークとの連携。	新型コロナ惨禍により職を失ったパート、アルバイト等は、この職により生活の主計または補完していた人が多く、職を失うことにより生活がひっ迫していることが考えられることから、今後の生活支援の窓口を設けることにより、生活保護などへの移行を回避する。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①45	労働に関する窓口の充実をしてほしい	よこすか未来会議	経済部	パートを切られた、減らされた、事業悪化によりやめさせられたなど、労働に関する相談が増加することが見込まれる。労働基準監督署や産業振興財団に窓口の充実（オンラインや電話での相談、相談時間の延長など）を求めるとともに、市が行ってる社労士による無料相談の周知の強化と、電話相談など柔軟な体制をとれるようにすること。	減収や失業などに対応し、経済的に生活ができるようにする。	
11	①14	大学生への支援	自由民主党	福祉部	国でも検討されており、本市でも大学生への食材提供を行っているところではあるが、緊急事態宣言により、バイトなどができない大学生に対して家賃補助などさらなる支援を検討する必要がある。	大学生への救済措置。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
12	①15	要介護者がすぐにPCR検査を受けられるようにしてほしい	よこすか未来会議	福祉部	介護が必要な人に発熱などがあつた際に、PCRセンターまで行くことが難しい人のための移動手段を確保すること	要介護者本人や家族が適切な処置を受けられる、訪問事業者への感染拡大を防ぐことができる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
G	①16	マスクの適切な装着保持が困難である障害者の作業所等への通所における感染防止	よこすか未来会議	福祉部	障害者の通所手段としての移動支援など自立生活援助に関わるサービスを現実に則して弾力的に運用すること（電車・バスでなく移動支援等に変更する場合にサービスが認められない等）	移動支援は余暇が目的とされているが、余暇活動ができない状況にあり、日々の通所を公共交通機関ではなく、移動支援に活用することにより感染リスクを低下できる	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①17	知的障がい者等のサービス向上	日本共産党	福祉部	知的障害を持っている方々の移動支援の対象を緩和する。知的障害を持っている方々はマスクが出来ない、公共交通機関では清潔の保持が出来ないなど表面上は自力通所は出来るが、個別対応が必要な場合がある。実態に合わせた移動支援の対象の緩和を進めること。	知的障がい者等が安心して通所できる。事業所も安心できる。	
H	①18	生活困窮者の救済	小林伸行議員（オブザーバー）	福祉部	「生活福祉資金貸付」の入金迅速化 横須賀市社会福祉協議会の「生活福祉資金貸付」は、現在、最も必要とされている制度だ。しかし、横須賀市の社協は元から組織内の問題を抱えていて退職が相次いでスキルの蓄積が十分でないうえ、人材も限られている。その結果、相談を受け付けるのが2週間以上先となっていた。 現在は、派遣会社から人員を手当てする予算を支給することとしたうえ、郵送も受け付けることとなった。また、郵送分の処理に関しては中央労働金庫にも委託をすることとなった。しかし、それでも申し込んでから貸付入金まで2週間以上かかるようだ。 これでは本制度の中の主力となる「緊急小口貸付」も、もはや「緊急」の意味が無くなってしまふ。この件は、私が相談を受けた方のうち何人もの方が直面して落胆している。 貸付金の入金を迅速化する手法を調査する。	生活困窮者の救済の迅速化	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①22	生活困窮者の救済	小林伸行議員（オブザーバー）	福祉部 こども育成部	市独自の緊急小口貸付を制度化 横須賀市社会福祉協議会の「生活福祉資金貸付」の入金を迅速化する手立てがないのであれば、市の独自の緊急小口貸付を制度化できないか。 既に、「母子・父子・寡婦福祉資金貸付」制度などもあるため、援用するなどすれば制度設計の時間短縮ができるだろう。 市内では、給与の遅配なども生じている。少なくとも、こうした方へのつなぎ融資的な貸付は、どんどん出すべきだ。 なお、明石市の事業者向け貸付制度は、毎日、〆切までに申請があった分は即日振込しており、市役所でも迅速な対応は可能なことの証左と言える。	生活困窮者の救済の迅速化	
	①19	新型コロナウイルス感染を原因に亡くなった方への対応	自由民主党	福祉部 健康部	病院から火葬までの過程を明確にする必要性。 病院、葬祭事業者に対する指示。	新型コロナウイルス感染症罹患者の死亡時の対応の市民周知	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①20	医療従事者・介護士・保育士・学童保育指導員等へのメンタルヘルスのケア	自由民主党	福祉部 健康部 こども育成部	最前線で対応に追われる医療従事者や介護士、保育士、学童保育指導員等は差別を受けたり、命の重さからメンタルヘルスを病むことが多いことから、そのケアを行う必要がある。	医療従事者、介護士、保育士、学童保育指導員のメンタルヘルスの維持	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①21	もしもの際の備えが欲しい。	よこすか未来会議	福祉部 健康部	ひとり親家庭の親が感染、要介護の人がいる世帯の介護者が感染、などの場合の支援や介護の必要な家族の行き先の確保をすること。	もし感染者が出た場合にスムーズに適切な体制に移ることができる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
18	①23	高齢者の心身の健康維持 老人福祉センターなどの公 共施設や町内会館が閉鎖さ れていることから、高齢者 の外出する機会が減り、人 との交流や運動量の減少に よる心身の健康状態が心配 されます。	小室卓重議 員	福祉部 市民部 等	地域包括支援センターなどを活用し、高齢者宅への電話での 安否確認や現状での暮らしの困りごとなどの聞き取りを行 い、孤立を防いで安心を提供するとともに、必要な政策につ なげる。	高齢者の孤立や孤独感の解消できる。 現状として必要な支援ができる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ 要望及び確認を依頼
19	①24	新型コロナウイルスの現状 把握	自由民主党	健康部	・帰国者・接触者相談センターの相談件数 ・濃厚接触者となった人数 ・相談後、PCR検査を実施した件数 ・PCR検査の結果の陽性率 ・医療機関からのPDR検査要請数 ※すべて日別、累計、一日平均 以上の公表	人数を発表することによるコロナに対する意識の向上および 安心感。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ 要望及び確認を依頼
	①25	正確な情報提供により感染 症を正しく理解し、行政機 関への信頼関係を構築	日本共産党	健康部	①横須賀市におけるPCR検査実施数及び陽性率、軽症者の 隔離施設の利用率等を毎日公表する。 ②過去の衛生年報に示されているインフルエンザやノロウイ ルス、風疹等の感染症にかかる率と比較して、死亡率は決し て高くないことを明らかにする ③横須賀市医師会による4月23日に行われたPCRセンター 視察時に配布した説明資料を、市民にもHP等で公表する。 ④必要であれば協議会において、医師会理事の方に参考人 として現状を説明していただき、医療現場の課題等を共有し、 解決策を講じる。	・正確な情報提供を行うことにより、デマや風評被害等から 守り、正しい感染拡大防止のもとで日常の生活を過ごすこと ができる。 ・行政機関への不信や不満を払拭し、現在置かれている状況 を乗り越えていく意欲を向上できる。 ・感染症に関する正しい知識を得ることにより、医療従事者 等への差別を解消し相互理解を深められる。	
	②24	・感染拡大防止 ・市民の不安解消	小林伸行議 員（オブ ザーバー）	健康部	PCR検査の適切性の検証 「PCR検査の実際の運用が合理的に行われているか？」に ついては、非常に市民の関心が高い。また、対立する様々な 議論がある。 ・日本はPCR検査の検査数が諸外国に比べ圧倒的に足りず、 不十分である ・PCR検査の能力は量も質も限界があり、諸外国に比べ圧倒 的に多いCTスキャンの活用が重要 ・現行の対応で問題がない。 こうした、様々な論点を踏まえ、本市の対応に課題がある のか、課題があるのであれば打ち手はあるのか、打ち手は何 なのか、検証する必要がある。検査数を意図的に絞っている 市町村もあるような報道もあり、保健所を自前で持つ横須賀 市としては、検証が必要である。 まずは、検査数とその人口比と陽性率を数値で確認すると ともに、必要に応じて医師会などに見解を求め判断材料を得 ることから検証を始めたい。	・感染拡大防止 ・市民の納得感の醸成	

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
20	①26	医療従事者の危険手当	自由民主党	健康部	医療に従事されている方々は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが非常に高いにもかかわらず、現状では通常の勤務と同じようにしか給与をもらっていない。市として医療従事者への危険手当等を検討すべきである。	医療従事者のモチベーションを保つことができる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①27	・医療崩壊の抑制 ・医療従事者の心理的負担の軽減	小林伸行議員（オブザーバー）	健康部 福祉部 こども育成部	<p>コロナ関連の現場業務にあたる医師・看護師・保健師の待遇向上の補助</p> <p>旧日本軍では、コレラ等の検疫にあたった当時の「検疫兵」の勤務は、国内であっても戦地並みの待遇で報いたと聞く。</p> <p>現代においても同様に、感染リスクのある現場業務に当たる方々には、十分すぎる待遇を以って報いたいものだ。</p> <p>医療関係者や家族を差別する馬鹿げた連中もいるやに聞く。とんでもない話だ。使命感から通常以上の緊張感と長時間労働に携わる中、心身ともにボロボロになって戦線離脱する医療関係者もいらつしゃると聞く。誰しも人間であり、離脱を責めることはできない。</p> <p>そのため、せめて激務の中でも様々な家事などを外部化できるようにしたり、コロナ終息後のリフレッシュを楽しみにして頂いたりするために、十分すぎる臨時的待遇増で応えたいものだ。</p>	・医療崩壊の抑制 ・医療従事者の心理的負担の軽減	
21	①28	コロナ感染の実態把握の必要性	自由民主党	健康部	PCR検査を行う対象の拡大及びPCR検査数の増加を求める。併せて、市民の共通認識を得るため、PCR陽性者に対するその後の対応の明確化。（例：治療の場所や社会復帰までの道筋等）	コロナについて公開されていないことが多く、それが市民の漠然とした恐怖につながっているため、その解消となる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
22	①29	人工透析の患者など持病を持つ患者が新型コロナに感染した場合の対応	自由民主党	健康部	人工透析患者などが新型コロナウイルスに感染した場合、重篤な症状に発展する可能性があるため対応を事前に検討する必要がある。 健康部が医療業界との連携をどのように考えているか。	人工透析患者の罹患時の対応。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
23	①30	食品衛生の徹底	小林伸行議員（オブザーバー）	健康部	<p>保健所の食品衛生監視体制の強化</p> <p>横須賀市では、かつて2カ所あった保健所も1カ所となった。全国の状況と同様に、保健所数の減少に伴って人員も削減され、専門分化もなされず職員が複数の職務分掌を兼任することが増えて、専門性が低下し職員あたりの業務量も増大してきたのではないかと。</p> <p>そこにコロナ禍である。感染症対策に人員を取られつつも、食品衛生部門の仕事もまた飲食店のテイクアウトの強化に伴う各種申請や問い合わせで増えている可能性がある。食品衛生の相談対応や監視は十分に対応できているだろうか。</p> <p>もしも懸念が該当するならば、体制強化が必要だ。「強化」と言っても、不必要に厳しくすべきだということではなく、相談等に迅速に対応できるよう人員配置を一時的に厚くしたほうが良いのではないかと。</p> <p>新たにテイクアウトを始めれば、「テイクアウトで出しているものといけないものは何か？」「お酒の持ち帰りには、どんな免許をどんな風に申請すればいいのか？」といった様々な疑問に直面する。従来はテイクアウトが多くなかった刺身の持ち帰りなども増えているが注意点は多いはずだ。こうした疑問に答えるためにも、十分な体制を組み、丁寧に対応する必要があるのではないかと。</p>	食品衛生の徹底	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
24	①32	1型糖尿病の子どもの家庭での医療的ケアを安定的に継続させる。 消毒用アルコールが不足している現状において、厚労省は国備蓄の消毒用エタノールを医療的ケア児に配布した。一方、1型糖尿病の子どもも、医ケア児同様に日々消毒用アルコールを必要としている（家庭でインスリン注射をする、インスリンポンプなどの機器を身体に穿刺する際の消毒用）が、配布の対象外。 自費で購入している方もおり、足りない分は家族会内で個人的に融通し合っている状況と聞いている。	小室卓重議員	健康部 こども育成部	①1型糖尿病の子どもの消毒用アルコール綿を配布する。 ②1型糖尿病以外にも、医療的ケアが必要でありながら国の支援からもれている子どもについて把握し、必要に応じて消毒用アルコールや消毒用アルコール綿を配布する。 ③市が保育所等や放課後児童クラブに紹介している消毒用アルコール販売情報を、このような子どもがいる家庭に対しても提供する。	1型糖尿病の子どもの家庭での医療的ケアが安定的に継続できる。 医療的ケアに必要な全ての子どもの、家庭での医療的ケアが安定的に継続できる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
K	①33	放課後児童クラブへの対応の延長	自由民主党	こども育成部	放課後児童クラブへの対応は補正予算では4月6日から5月1日までの平日が対象であるが、緊急事態宣言の延長に伴い、5月29日までの期間延長を行うべきである。	放課後児童クラブの負担軽減。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①34	放課後児童クラブの運営が安定するようにしてほしい。	よこすか未来会議	こども育成部	利用自粛で利用者が減り、当初開所予定だった土曜の閉所などを行っているところや、障害児加算分のスタッフ配置をしていないところがあるが、人件費や家賃などの固定費はかかっている。コロナを理由に縮小した部分に関して補助金の返金を求めないこと。また、コロナを理由に学童利用をやめてしまう児童もいるが、利用人数に影響する場合、柔軟に対応すること。	放課後児童クラブの安定的な運営のため。	
L	①35	学童クラブにおける感染防止	小林伸行議員（オブザーバー）	こども育成部 教育委員会	学童クラブへの小学校の学校開放 小学校は、リスクを負いたくないから学校開放はしたがらないが、登校していないから学校はガラガラだ。 一方の学童クラブは、医療機関の保護者を中心に保育ニーズはなくなっていないため、多くの学童クラブで3密そのままの空間で子どもたちは過ごしている。そのため、学童クラブを対象に限定的に学校開放したほうがいい。その際、学校管理者である校長は管理責任を問われないことを市長部局で担保してはどうか。 なお、その際、保育が必要な学童の期間限定の追加加入を学童クラブ側に条件としても良いのではないかと。	学童クラブにおける3密の減少	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①54	3密を防いでほしい（場所の提供）	よこすか未来会議	教育委員会 市民部 福祉部 こども育成部	学童クラブや放課後等デイサービスなどが、感染拡大防止のため、利用を求めた際に、学校施設や公共施設を利用させること。	感染リスクを下げるができる。子どもたちの運動不足解消につながる。	

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
M	①36	ひとり親家庭の経済支援のため。	公明党	こども育成部	児童扶養手当を受給する世帯に一律1万円の臨時特別給付金を支給する。	ひとり親家庭では低所得者を対象とする児童扶養手当を受給する世帯が多く、経済的に非常に苦しく、雇用情勢も不安定であり、現在、自粛要請により働きたくても働けない状況がある。生活を維持するためにも、経済的に逼迫するひとり親家庭(2,913世帯 R2.3.31)を支援できる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	②25	ひとり親支援の充実	よこすか未来会議	こども育成部	(財政の見通しのあとで)児童扶養手当の上乗せを検討すること。また、児童手当対象でない16歳以上の子どもがいる世帯についても支援を検討すること。コロナにより養育費が減らされてしまった方が、養育費を受け取れるよう既存の策を使って支援すること。	ひとり親の経済的不安を軽減する。	
28	①37	人権保護	小林伸行議員(オブザーバー)	こども育成部	家庭内暴力や児童虐待のケースの増減やその背景などを分析して打ち手を検討 自宅への滞在時間が増えることで、DVや虐待も増えているとの報告もある。本市がどんな状況にあるか、この際、確認しておく必要がある。 また、親として必要な知識やノウハウを身に付けていない親も多いため、パパママ講座をオンラインで実施し、この機に学んでもらう方法も検討すべきだろう。	・人権保護 ・人権意識や育児の心得やメソッドの学習	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
N	①38	・乳幼児と保育士の感染防止 ・児童と学童クラブ指導員の感染防止 ・保育士の心理的・身体的負担軽減	小林伸行議員(オブザーバー)	こども育成部	保育園と学童保育の登園抑制 他市では、本市のような「登園自粛」ではなく、親の仕事等の状況を調べて「登園許可制」とするまちが増えている。これを導入すべきだ。 登園することが減れば、感染防止になる。 また、保育士・指導員は、濃厚接触を避けられない仕事であり、心理的に大きな負担を抱えながら業務に当たっている。また、感染防止のための様々な物理的作業負担も増えている。こうした負担を、量的に削減することもできる。 なお、他市のように保育料については日割りで還付されているかも確認しなければならない。	・乳幼児と保育士の感染防止 ・児童と学童クラブ指導員の感染防止 ・保育士の心理的・身体的負担軽減	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	②27	学童クラブの運営の統一。	日本共産党	こども育成部	学童クラブの開所、閉所の指針、過ごし方の指針を市として明確に打ち出す。	各学童クラブの運営が統一され、指導員は子どもたちへの対応に集中できる。	
30	②26	保護者への給食費の返金をスムーズし、保育所運営を支援する。	日本共産党	こども育成部	各保育所の給食費の実態を調査し、登園自粛した保護者への返金について、市が支援する。 0, 1, 2歳児は影響がないと思われるが、3歳児から実費徴収となっていることから、登園していない場合は給食費をもらうことは出来ず、かといって食材はすでに購入しているという状況があるときく。	保育所の事業継続。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
31	①39	妊婦さんの負担軽減 国は妊婦に布マスクを配布するが、つわりの重い妊婦さんが布マスクを毎日洗うのは負担が大きい。経産省公式Youtubeチャンネルでは布マスクの洗い方を紹介しているが、これを見ると、つわりの重い方にとっては布マスクを日々洗うことが現実的ではないと、よくわかる。	小室卓重議員	こども育成部	母体保護の観点から、つわりの重い妊婦さんには、使い捨てマスクを市が配布する。	妊婦さんの心身の健康維持、感染防止、母体保護。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
32	①40	家賃補助	自由民主党	経済部	本社が市内にある中小企業に対する支援 特に、国の第2弾の経済対策のスキームの融資を受けた企業だけでなく、融資を受けられない企業に対してどのように行うかを検討すべきである。	現在、市内に事業所、店舗などがある事業者には中小企業等家賃補助支援補助金が給付されるが、本社を有し、事業所や店舗がない事業者には補助金が支給されていない。本市に税金を納めているにもかかわらず、支援策が講じられていない。県の補助制度もないことから何らかの対応が必要と考えられる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①41	中小企業へのさらなる支援	よこすか未来会議	経済部	中小企業への家賃補助は、国が助成を決めたので、基金の使い道を新たに検討すること。	家賃補助2か月分の2分の1補償だけでは厳しい現実に対応する。	
	①42	中小企業等家賃支援補助金の申請書類を極力簡略化し、申請者の利便性を向上させ、補助金の支給を迅速化する。	公明党	経済部	申請書類から賃貸借契約書を除外、または通帳の記載でも可能とされたい。 税務部市民税課が分掌している確定申告情報を申請書類から除外し、代わりに同意書を追加する。	倒産及び廃業件数の減少。	
	①43	政府の「宣言」が5月31日と変更されたことから、中小企業の家賃補助をさらに支援する。	日本共産党	経済部	中小企業への家賃補助を5月分も対象とする。	中小企業の事業継続。	
33	①46	休校中の学力低下と学習環境格差の補完	自由民主党	教育委員会	休校中の学習に対する取り組みが保護者と児童・生徒任せになっていることから、課題を出すだけでなく、学習計画の補助を行う。 また、課題を出すだけでは学習に取り組むことができない支援級の児童に対する対策も併せて検討する必要がある。	児童・生徒の学力の向上だけでなく、学習環境を整えることにより、家庭等において学校での生活と同様の生活環境を整える。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
34	①47	授業の在り方の検討	自由民主党	教育委員会	オンライン授業の在り方を早急に検討する。	学校の休校が続く中、子どもたちの学力の低下や生活環境の悪化が考えられる中で、規則正しい生活を送りつつ、学業にいそむことができる環境を構築できる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	①48	オンライン授業の推進	自由民主党	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の公用PCにはカメラがついていない → カメラ付きPCの購入 ・保護者のアドレス確認が大変 → マチコミを活用すればアドレスを知る必要がない ・YouTubeなど公用PCのセキュリティによって動かすことができないコンテンツがある → マチコミの活用でできるのではないか ・児童・生徒の端末と通信環境の整備、クラウドアカウントの取得 	オンライン学習を行うことにより、学習力の向上及び、生活環境の確認、子どもたちの状況を確認できる。	
	①49	学校の臨時休校期間が延長され、未だに見通しが立たない中で、子供たちの学びを保障できる環境を如何に構築するかが課題となっている。	よこすか未来会議	教育委員会	<p>政府の令和2年度補正予算において、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現するための予算が計上された。</p> <p>これを踏まえ、長期的にはGIGAスクール構想に対する本市の取組方針を変更し、「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備等を進めることを方針に盛り込み、子供たちの学びを保障する環境づくりをさらに進めていくこと。特段効率的な予算配分を実現するため、家庭の通信環境アンケートの結果を活用し、まずはオンラインにアクセスできない家庭から優先してLTE型端末やWi-Fiルーターなどの貸与を検討すること。</p>	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する可能性もあり、その場合の対応を迅速に行うことができる。また、新型コロナウイルス感染症だけでなく、今後、災害等の事態が発生したときにおいても、子供たちの学びを保障できるよう、ICTに関するインフラを早期に整備することが求められる。	
	①50	オンライン授業を行う事により休校中の教育を推進する。	公明党	教育委員会	オンライン授業を検討すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業を行う事により休校中の教育を推進する。 ・不登校生徒など多様な学び方を推進できる。 	
	①51	義務教育の提供	小林伸行議員（オブザーバー）	教育委員会	<p>義務教育の手段確保</p> <p>我々には教育を施す義務がある。しかし、国は無策であり、9月入学への移行といった思い切った策を打てずにいる。そのため、現状では残された時間の中で必要な学びを提供する方策を模索するほかない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市のようにTVで授業をするのか、無料でTV神奈川は観られるのでタダ乗りするのか？ ・熊本市のようにネットワーク回線付きのタブレットを配るのか？ ・端末と回線のない児童生徒に代替策を講じたうえで既存のオンライン教育プログラムを使うか ・市独自にオンライン教育プログラムを制作するのか？ ・明石市のように、市独自に郵送による通信教育を実施するのか？ ・感染拡大していない本市の状況に鑑みて学校を再開するのか？ <p>いずれにしても、教育を施す義務を負っているわけであり、何らかの手段を早急に確保しなければいけない。</p>	義務教育の供給	

No	番号	目的	提案会派等	対象部局等	内容	期待される効果	結果
35	①52	スムーズな学校再開	日本共産党	教育委員会	小学校の校庭開放が再開された。今後、学校再開の準備もしていくことになると思われる。新入学生に対しては特に手厚い配慮が必要と思われる。他の学年もクラスを2部構成にして時差登校したり、授業を分けたり、教室の消毒をしたり、手洗い、ソーシャルディスタンスを促したり児童を総合的に見守っていくことが必要だ。したがって、担任の先生だけでなく、T2の先生、その他スタッフを入れることを提案する。大学生や退職教員など広く声をかけて準備を進めていくこと。	児童、生徒の学校生活へのリズムをサポート	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
	②39	学校再開のマニュアルの公開をしてほしい	よこすか未来会議	教育委員会	学校再開の際、どのように再開をしていくのかを示すこと。(学習の遅れを取り戻すためのスケジュールや学校生活における今年度分のスケジュールを。)感染拡大をふせぐためのマニュアルを作成すること。	保護者や児童生徒の先行きが見えない不安を解消する。	
36	①53	児童の健全育成	小林伸行議員(オブザーバー)	教育委員会 こども育成部	子どもの居場所や学習の場としての小学校の活用 子どもたちを家庭内にとどめ続けるのは困難であり、健康上も良くない。 適度な運動の確保と友達と遊ぶことの防止のために、小学校の図書館・パソコンルーム・校庭・体育館を一定のルールの下で使わせたほうがいいのか。 特に、図書室から本を借りて、自宅で本を読むことは、最高の時間の使い方の一つだ。自宅にパソコンやインターネット環境のない子どもたちにはパソコンルームでプログラミングやタイピング・ゲームを通して考え方やスキルを身に着けることも有意義だ。体育館や校庭で、非接触の運動だってできる。 そして、これらへの対応は教師ではなく、「ランドセル置き場」(みんなの家)の指導員や、老人福祉センターの職員など、閉館している施設の市職員を動員し、管理責任も市長部局で負ってはどうか?	児童の健全育成	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼
37	市議会の対応	市議会の申し入れに対する市の回答に示される対応策についての確認	小室卓重議員	市議会	3月2日付で市議会が行った市長への申し入れについては、3月6日に回答があったが、その後の経緯の確認。 1. 3. 小学生の居場所について 各家庭への周知方法、相談件数、預かり実績など。 2. 学童クラブについて 人員面の支援、校庭や体育館開放の実績。 4. 情報発信 情報の共有化、発信窓口の明確化をどのように行っているか	必要な対応が適切に行われているかを確認し、必要に応じてさらなる対策につなげられる。 申し入れと回答については市議会HPに掲載しているが、回答が保留になっているものもあり、申し入れ以降の経緯を確認することで、情報を市民に発信できる。	5/15 質問内容を取りまとめ市へ要望及び確認を依頼